

令和 7 年 上半期

(令和 7 年 1 月～令和 7 年 6 月)

火災・救急・救助の概況

岡崎市消防本部

火 災 の 概 況

1 火災発生状況

令和7年上半期（1月～6月）の岡崎市における火災概況は出火件数47件、火災による焼損面積は建物1,260㎡、林野2a、損害額は1億4,692万2千円、死者は1人、負傷者は1人であった。出火件数47件を火災種別ごとにみると、建物火災が27件（57%）と最も多く、以下その他の火災13件（28%）、車両火災6件（13%）の順となっている。（第1表）

【上半期の火災発生状況表】

（第1表）

区 分 種 別		令和7年 (A)	令和6年 (B)	比 較 (A)－(B)	過去10年平均 (C)	比 較 (A)－(C)
出火件数（件）		47	44	3	53	△ 6
火 災 種 別	建物火災	27	26	1	28	△ 1
	林野火災	1	2	△ 1	2	△ 1
	車両火災	6	3	3	7	△ 1
	その他の火災	13	13	0	16	△ 3
焼 損 面 積	建物(㎡)	1,260	559	701	1,006	254
	林野(a)	2	4	△ 2	13	△ 11
損 害 額（千 円）		146,927	64,862	82,065	113,277	33,650
死傷者 (人)	死 者	1	4	△ 3	2	△ 1
	負 傷 者	1	9	△ 8	8	△ 7

備考 △印は減を示す。

2 損害額

火災による損害額 1 億4692万 7 千円の内訳をみると、最も多いのは建物損害の 1 億4309万 4 千円で全損害の97%を占め、以下その他の損害の249万 3 千円、車両の損害の134万円の順となっている。（第 2 表）

損害額 1 億4692万 7 千円は、前年の6486万 2 千円と比較すると8206万 5 千円の上昇であり、過去10年平均の 1 億1327万 7 千円より3365万円上回っている。（第 1 表）

【損害額の内訳】 (第 2 表)

種 別	区 分	損害額	
		(千円)	比 率 (%)
建 物		143,094	97.4
林 野		0	0.0
車 両		1,340	0.9
そ の 他		2,493	1.7
合 計		146,927	100.0

3 出火原因

出火件数47件の主な出火原因をみると、「たばこ」が 9 件（19%）と最も多く以下「放火・放火の疑い」が 8 件（17%）、「こんろ」及び「電気機器」が 3 件（6%）の順となっており、これらで全体の約 5 割を占めている。（第 3 表）

【主な出火原因別件数】 (第 3 表)

種 別	区 分	令和 7 年 (件)	令和 6 年 (件)	比較 (件)
放火・放火の疑い		8	5	3
た き 火		1	6	△ 5
た ば こ		9	7	2
こ ん ろ		3	1	2
火 あ そ び		0	0	0
電 気 機 器		3	4	△ 1
ス ト ー ブ		2	0	2
そ の 他		21	21	0
合 計		47	44	3

備考 △印は減を示す。

救 急 の 概 況

令和 7 年上半期（1 月～ 6 月）の救急出場件数は9,239件で、搬送人員は8,569人であった。

前年と比較すると出場件数で 6 件増加し、搬送人員では48人増加している。

内訳では、急病が全体の 7 割を占める6,473件（70.1%）、続いて一般負傷が1,208件（13.1%）、交通事故510件（5.6%）の順であり、増加したものは、急病146件、交通事故41件、自損行為 9 件、火災 3 件、運動競技 3 件で、減少したものは一般負傷80件、加害16件、労働災害12件、自然災害 1 件、その他87件であった。

過去10年間の平均と比較すると、交通事故は少なく、一般負傷や急病は多い。

（第 1 表）

【上半期の救急出場状況表】

（第 1 表）

		令 和 7 年 (A)	令 和 6 年 (B)	比 較 (A)－(B)	過去10年平均 (C)	比 較 (A)－(C)
救 急 出 場 件 数		9,239	9,233	6	8,137	1,102
搬 送 人 員		8,569	8,521	48	7,507	1,062
種 別 内 訳	火 災	21	18	3	20	1
	自 然 災 害	0	1	△ 1	1	△ 1
	水 難	1	1	0	1	0
	交 通 事 故	510	469	41	533	△ 23
	労 働 災 害	63	75	△ 12	69	△ 6
	運 動 競 技	44	41	3	38	6
	一 般 負 傷	1,208	1,288	△ 80	1,061	147
	加 害	11	27	△ 16	22	△ 11
	自 損 行 為	103	94	9	86	17
	急 病	6,473	6,327	146	5,499	974
そ の 他		805	892	△ 87	671	134

備考 △印は、減を示す。

月別救急出場・搬送人員状況

上半期の月別救急出場件数は、1月が1,844件と最も多く、5月が1,442件と最も少なかった。
(第2表)

1か月の平均は1,540件で、1日平均51件となっており、28.2分に1件の割合で出場したことになる。

上半期の搬送人員では、1月が1,703人と最も多く、5月が1,336人と最も少なかった。
(第3表)

1か月の平均は1,428人で、1日平均47.3人となっており、上半期で市民45人に1人が救急搬送されたことになる。

【上半期の月別救急出場件数】

(第2表)

	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他	
1月	6			76	6	10	227	2	20	1,338	144			15	1,844
2月	1			91	12	7	201		8	1,014	108	1		13	1,456
3月	3			86	10	7	205	4	14	1,017	129		1	13	1,489
4月	1		1	91	12	5	201	1	18	1,024	119			15	1,488
5月	3			76	9	6	183	4	28	1,005	107			21	1,442
6月	7			90	13	9	192		15	1,074	101			19	1,520
合計	21		1	510	62	44	1,209	11	103	6,472	708	1	1	96	9,239

【上半期の月別搬送人員状況表】

(第3表)

	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他	
1月	2			68	6	10	211	1	17	1,245	143				1,703
2月				91	12	7	188		4	942	108				1,352
3月				75	10	7	191	4	10	945	129				1,371
4月				79	11	5	194	1	13	962	118				1,383
5月				72	9	6	169	2	23	948	107				1,336
6月				90	13	9	178		10	1,023	101				1,424
合計	2			475	61	44	1,131	8	77	6,065	706				8,569

救 助 の 概 況

令和 7 年上半期（1 ～ 6 月）の救助出動件数は106件で、救助人員は43人、事故種別で見ると建物等による事故が最も多く48件、以下その他の事故、交通事故の順となっている。

前年と比較すると、出動件数は15件の減少、救助人員は10人の減少であった。
（第 1 表）

【上半期の救助出動状況表】

（第 1 表）

			令和 7 年 (A)	令和 6 年 (B)	比 較 (A)－(B)
救 助 出 動 件 数			106	121	△ 15
救 助 人 員			43	53	△ 10
種 別 内 訳	火 災	建 物	4	2	2
		建 物 以 外			
	交 通 事 故		20	17	3
	水 難 事 故		1	2	△ 1
	風水害等自然災害事故				
	機 械 に よ る 事 故		1		1
	建 物 等 に よ る 事 故		48	49	△ 1
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		4	3	1
	破 裂 事 故				
	そ の 他 の 事 故		28	48	△ 20

備考 △印は減を示す。